

# 御仏の教え



安らいの寺

安来 清水寺

2016年11月号

通信

なめき出で衆つる活来  
全始てのまむずあ生て  
完をっ者これ住しのな  
が天や導ここに少知滅  
来梵に指上、理安消  
如時、所、地、も、持、ち、思、も  
勝た、樹、間、ま、し、持、す、か、意、も  
通った、樹、間、ま、し、持、す、か、意、も  
大な菩提、おりの神の持、私、い、  
はな菩長し、おりの神の持、私、い、  
言開き、おのち、我々も、堅、し、と、  
の神々、待、お、頼、行、減、少、安、  
今をる「私、おのち、我々も、堅、し、と、  
覚す、を、を、を、を、を、を、を、を、  
今をる「私、おのち、我々も、堅、し、と、

## 11月 行事予定

1~10日	宝物館一般公開
11日	清水稲荷社大祭 もっこ祭り
12日	心経講座
17日	観音様ご縁日
28日	懺悔護摩供養祭

## 12月 行事予定

10日	心経講座
11日	稲荷社ご縁日
17日	大梵焼祭 <small>詳細は裏面をご覧ください。</small>
31日	除夜祭

# 11月の言葉

この上なく勝れた車輪を回せ  
不死の太鼓を打ち鳴らせ  
そして、苦悩に悩まされる  
者たちを解放せよ

妙法蓮華経化城喩品より

一年間お護りいただいた  
「祈祷札、お守り、縁起物」等に  
感謝を込め浄火で梵焼し、  
天宮の浄地にお返ししましょう。



明平成 30 年の恵方（その年の「干支」に基づく吉方角）南南東の色、赤色の御幣で飾った梵焼添え護摩木を焚き上げ、皆様の願い、ご家族の安全、職場・隣人の無事安全を御祈念いたします。

平成 29 年を無事に過ごせた幸せに感謝して、また迎える

平成 30 年の幸せを願って、「梵焼添え護摩木」を供養致しましょう。

# 清水寺大梵焼祭

平成 29 年 12 月 17 日 (日)  
9 時 ~ 12 時まで

貴方の願い事、名前、住所  
を裏面にお書き下さい。



梵焼添え護摩木  
一本 500 円

当寺以外の御札、お守り、縁起物は郵送ではお受け出来ませんので梵焼祭当日にご持参下さい。

人形の梵焼供養はお断りしております。

又、仏像、仏壇、神棚等は前もってお性根抜きが必要ですので早めにご相談下さい。

添え護摩木、又梵焼物のご依頼は  
12 月 10 日 (日) までに。

## 仏教入門 No.38



先月までで「原始仏教」(げんしぶっきょう)時代の歴史に関する紹介を一応終えました。今月は、その「原始仏教」に遡ることができるお経(「原始仏典」などと呼ばれます)について解説していきましょう。原始仏典は、以下の五部から成り立っています。

- ①『ディーガニカーヤ』  
お経の中でも比較的長い 34 経によって組織されています。
- ②『マジマニカーヤ』  
お経の中で、長くも短くもない 152 経から成り立っています。
- ③『サンユッタニカーヤ』  
テーマ別に編集された約 3000 経から構成されています。経数については、研究者によって違いがあります。
- ④『アングッタラニカーヤ』  
1 から 11 までの数字の順序に従って、お経を分類する方針から編纂されたものです。『アングッタラニカーヤ』の経数についても、数え方によって違いがあるようですが、2000 を超えるお経が収められています。
- ⑤『クッダカニカーヤ』  
以下の 15 経を収録しています。

- ・『クッダカパータ』
- ・『ダンマパダ』

- ・『ウダーナ』
- ・『イディヴッタカ』
- ・『スッタニパータ』
- ・『ヴィマーナヴァットウ』
- ・『ペータヴァットウ』
- ・『テーラガター』
- ・『テーリーガター』
- ・『ジャータカ』
- ・『ニッデーサ』
- ・『パティサンビダーマツガ』
- ・『アパダーナ』
- ・『ブッダヴァンサ』
- ・『チャリヤーピタカ』

個々の経まで解説できませんが、以上が原始仏典の構造となります。これまでは、一般の方々が原始仏典を読むことは難しい環境にありました。なぜなら、インドのパーリ語という言語で書かれた原典が読めない場合は、『南伝大蔵経』(なんでんだいぞうきょう)を使わなければなりませんでした。この南伝大蔵経というのは、高楠順次郎博士(1866-1945)が中心になって翻訳したのですが、刊行が 1935-41 年ということもあって、翻訳された文章が難しく、理解するのになかなか骨が折れる場合が多々あります。しかし、近年原始仏典の翻訳が進んでいますので、次回紹介していくことにします。